

三中校長だより 保護者地域の皆さんへ
令和6年度 第10号 R6.12.18(水)



藤井寺市立第三中学校
校長 奥 雅 美

「プルタブ回収」

本校生徒会では、プルタブの回収活動を行っています。保護者の皆さまをはじめ、ご親戚や近隣の皆さまからも多大なご協力をいただいております。心より感謝申し上げます。

本来であれば、アルミ缶全体を回収する方が効率的ですが、アルミ缶を洗浄したり潰したりする作業が生徒たちにとっては難しい場合があることや、スチール缶のプルタブ部分もアルミ製であることから、現在はプルタブを中心に回収を進めております。それにもかかわらず、洗浄し潰したアルミ缶をご寄付いただくこともあり、大変感謝しております。

回収したプルタブはリサイクルを通じて再利用されるだけでなく、校区北側にあるアサヒセイレン株式会社に引き取っていただき、収益を得ることができます。このたび、生徒会が回収したアルミの合計重量は 40 kg となり、収益は 9,600 円となりました。この収益金は、生徒会の行事や中庭リフォームの資材費として有効に活用させていただいております。

今後も引き続きプルタブの回収活動を行い、生徒会活動の充実に役立ててまいります。これからもご協力をお願いいたします。

「6年生体験入学 12月12日(木)午後」

本校に入学を予定している 6 年生を招き、体験入学を実施しました。生徒会による学校説明や部活動紹介の後、希望する教科の授業体験をしました。児童らは積極的に参加しており、嬉しく思います。少しでも中学校生活への不安が軽減されていれば幸いです。また、多くの保護者の皆様にもご参観いただき、誠にありがとうございました。

「非認知能力(ひにんちのうりよく)」

最近、この言葉を耳にされた方もいらっしゃるかもしれませんが、「非認知能力」とは、「意欲」「粘り強さ」「協働性」「向上心」など、数値化が難しい能力を総称したものです。今年度、本校では、この「非認知能力」に注目し、授業改善に取り組んでいます。

どのような学びにも意欲が必要です。その意欲を引き出すには、生徒たちの「心」を動かす体験が欠かせません。ドキドキしたり、ワクワクしたり、優しい気持ちになったりする経験を積むことで感情が豊かになり、非認知能力が育まれます。本校で実施しているキャリア学習や保育実習、生徒会や委員会活動は、こうした力を養う具体的な取り組みです。

「非認知能力」を伸ばすことは、テストで測定できる「認知能力」の向上にもつながるとされています。しかし、こうした活動があるからといって、授業をおろそかにしてよいわけではありません。基礎的な知識や問題解決の方法、学び方は授業を通じて培われるものです。そして、その学びをさらに深めるために、「非認知能力」が必要なのです。

本校では、「認知能力」と「非認知能力」の両方を大切に、生徒一人ひとりの力を伸ばすことをめざし、学力向上の取り組みを進めてまいります。

「自作紙芝居読み聞かせ12月6日、13日放課後」

2年生は総合の時間に、全ての班で近隣のこども園や保育園の園児向けの自作紙芝居を作成しました。紙芝居は、「歯磨き習慣」や「靴の左右の履き間違い」、「好き嫌い」などの課題を解決する工夫が施され、色使いもとても綺麗でした。完成した紙芝居は、放課後に代表の生徒が園児たちに読み聞かせを行いました。子どもたちはみんな集中して聞き入ってくれていました。読み聞かせの後の外遊びでは生徒たちが優しい表情で園児と遊ぶ姿がとても印象的でした。帰り際には、「次はいつ来るの?」と名残惜しそうにする園児たちの様子が見られました。